

# 河川整備計画策定報告

1. 揖保川水系揖保川圏域河川整備計画
2. 由良川水系竹田川圏域河川整備計画

## 1. 河川整備計画策定中事業の取扱い

### (公共事業等評価実施要領第4条第2項関係)

#### 【兵庫県公共事業等評価実施要領第4条第2項】(平成15年10月16日改定)

河川事業については、河川法に基づき学識経験者等から構成される委員会等での審議を経て、河川整備計画の策定・変更を行った場合には、継続事業として審査したものとする。

#### [運用]

- ①再評価予定年度において、公共事業等審査会（以下「審査会」という。）に審査依頼するまでに流域委員会等が設置出来ている場合は、審査会の審査対象とはしない。
- ②河川整備計画を策定した場合は、速やかに審査会にその旨を報告する。
- ③河川整備計画を策定した事業は、審査会に報告することにより再評価の手続を行ったこととし、以降、当該計画策定から5年後に再評価を行う。
- ④河川整備計画の策定手続期間中であっても、本来の再評価予定年度には審査会に事業の進捗状況・流域委員会等での審議状況等について中間報告する。(平成21年度より実施)

#### (解説)

- ・河川整備計画策定時に開催する流域委員会等と審査会は、学識経験者等を含む外部の委員で構成する委員会である。
- ・流域委員会は、学識経験者や地域住民が参加し、幅広い視点で、透明性・公平性の確保に配慮し検討、協議が進められており審査会と同じ性質を持つと考える。
- ・同一案件について、2つの委員会で同時に審議することは好ましくない。

#### [参考：過去の河川整備計画策定報告実績]

- ・平成19年度…大谷川水系、都志川水系（2件）
- ・平成20年度…瀬戸川水系、喜瀬川水系（2件）
- ・平成22年度…円山川水系（下流圏域）、同（出石川圏域）、船場川水系、市川水系、三原川水系、明石川水系、岸田川水系（7件）
- ・平成24年度…加古川水系（丹波圏域）、由良川水系（竹田川圏域）、武庫川水系、千種川水系、同加里屋川、八家川水系（6件）
- ・平成25年度…加古川水系（中流圏域）（1件）
- ・平成26年度…夢前川水系（1件）
- ・平成27年度…淀川水系（神崎川圏域）（1件）
- ・平成28年度…淀川水系（猪名川圏域）（1件）

## 2. 河川整備基本方針・河川整備計画について

### (1) 河川法に基づく計画

平成9年の河川法改正により、従来の「治水」「利水」に「環境」を目的に加えるとともに、住民意見を反映させる河川計画制度が位置づけられた。この制度では、将来目指すべき川の姿を定める「河川整備基本方針」と、今後20～30年の具体的な整備内容等を定める「河川整備計画」を河川管理者が策定することとなっており、県が管理する河川について順次策定している。

#### ① 河川整備基本方針の内容

治水、利水、環境の視点から、総合的に将来目指すべき河川整備の方針と計画高水流量等の河川整備の基本となるべき事項を定める。

#### ② 河川整備計画の内容

今後20～30年に実施する具体的な河川工事、河川環境の整備と保全及び河川の維持の内容を定める。

### (2) 計画策定の流れについて

河川整備基本方針の策定にあたっては、兵庫県河川審議会の意見を聴くとともに、パブリック・コメント手続を実施し、広く県民の意見を聴いている。なお、千種川、武庫川、市川の主要な3水系では、県独自に河川工学や環境等の専門家と地域住民が参加する「流域委員会」を設置し、策定プロセスのより早い段階から意見を聴いている。

また、河川整備計画の策定にあたっては、河川整備基本方針に示す最終目標に向け、段階的な整備を具体的に位置付けることから、過去の被災状況や改修経緯等を踏まえるとともに、地域の意見を反映した計画とするため、「流域委員会」で意見を聴いている。

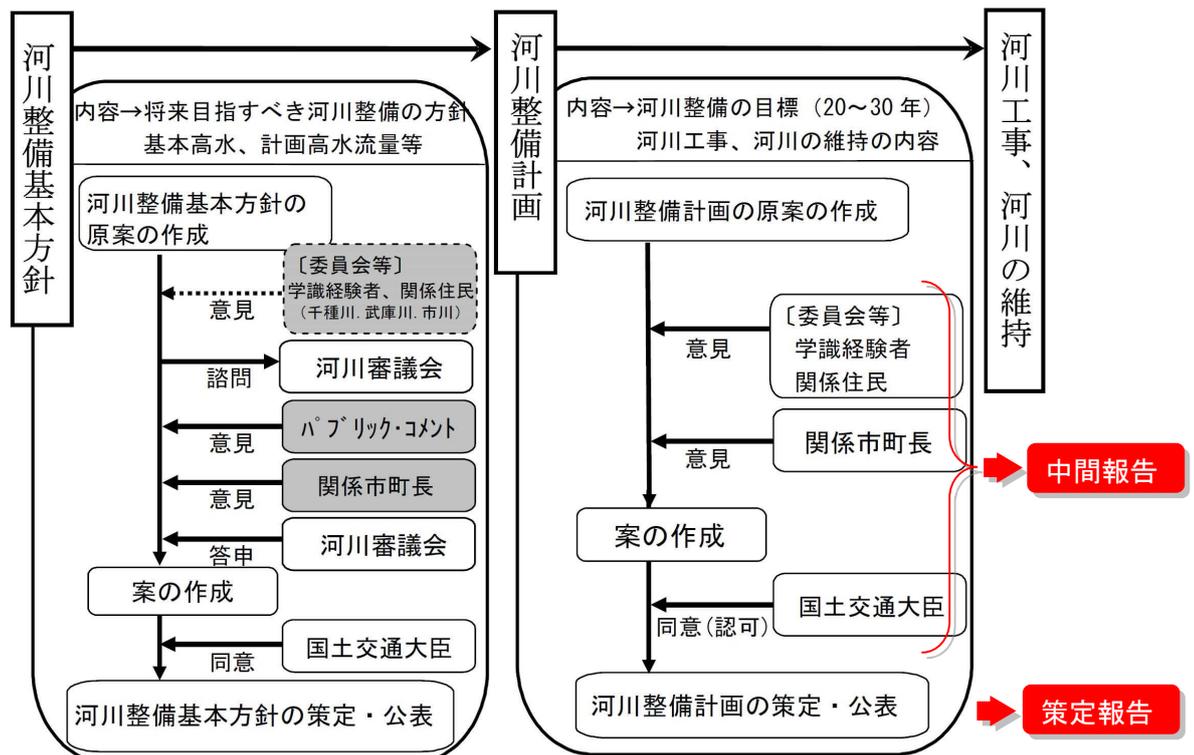


図 河川整備基本方針・河川整備計画策定の流れ ※ [Gray Box] が県独自の取り組み

### (3) 策定状況

全ての1級河川及び2級河川において、河川整備基本方針及び河川整備計画を策定していく必要があるが、特に、策定が急がれる事業実施中の河川や事業を予定している河川から、順次策定している。

#### ① 河川整備基本方針の策定状況

##### ア 一級水系（国土交通大臣が策定）

策定状況	水系数	水系名
策定済	5水系	淀川水系、加古川水系、揖保川水系、由良川水系、円山川水系

##### イ 二級水系（国土交通大臣の同意を得て県知事が策定）

策定状況	水系数	水系名
策定済	39水系	蓬川、武庫川、新川、東川、洗戎川、夙川、堀切川、高橋川、鯉川、宇治川、新湊川、妙法寺川、福田川、明石川、瀬戸川、喜瀬川、法華山谷川、西浜川、八家川、市川、野田川、船場川、夢前川、大津茂川、富島川、大谷川、千種川、大津川、竹野川、香住谷川、矢田川、岸田川、育波川、都志川、三原川、塩屋川、本庄川、洲本川、志筑川
策定中	7水系	郡家川、硯川、山田川、岩戸川、西郷川、都賀川、高羽川

#### ② 河川整備計画の策定状況（下線：今回策定報告）

##### ア 一級水系（県管理区間）

県下5水系について、地域特性を考慮して10圏域に分割して策定済

策定状況	圏域数	圏域名
策定済	10圏域	淀川水系：神崎川圏域、猪名川圏域 加古川水系：下流圏域、中流圏域、丹波圏域 <u>揖保川水系：揖保川圏域（今回策定）</u> <u>由良川水系：竹田川圏域（今回変更）</u> 円山川水系：上流圏域、下流圏域、出石川圏域

##### イ 二級水系

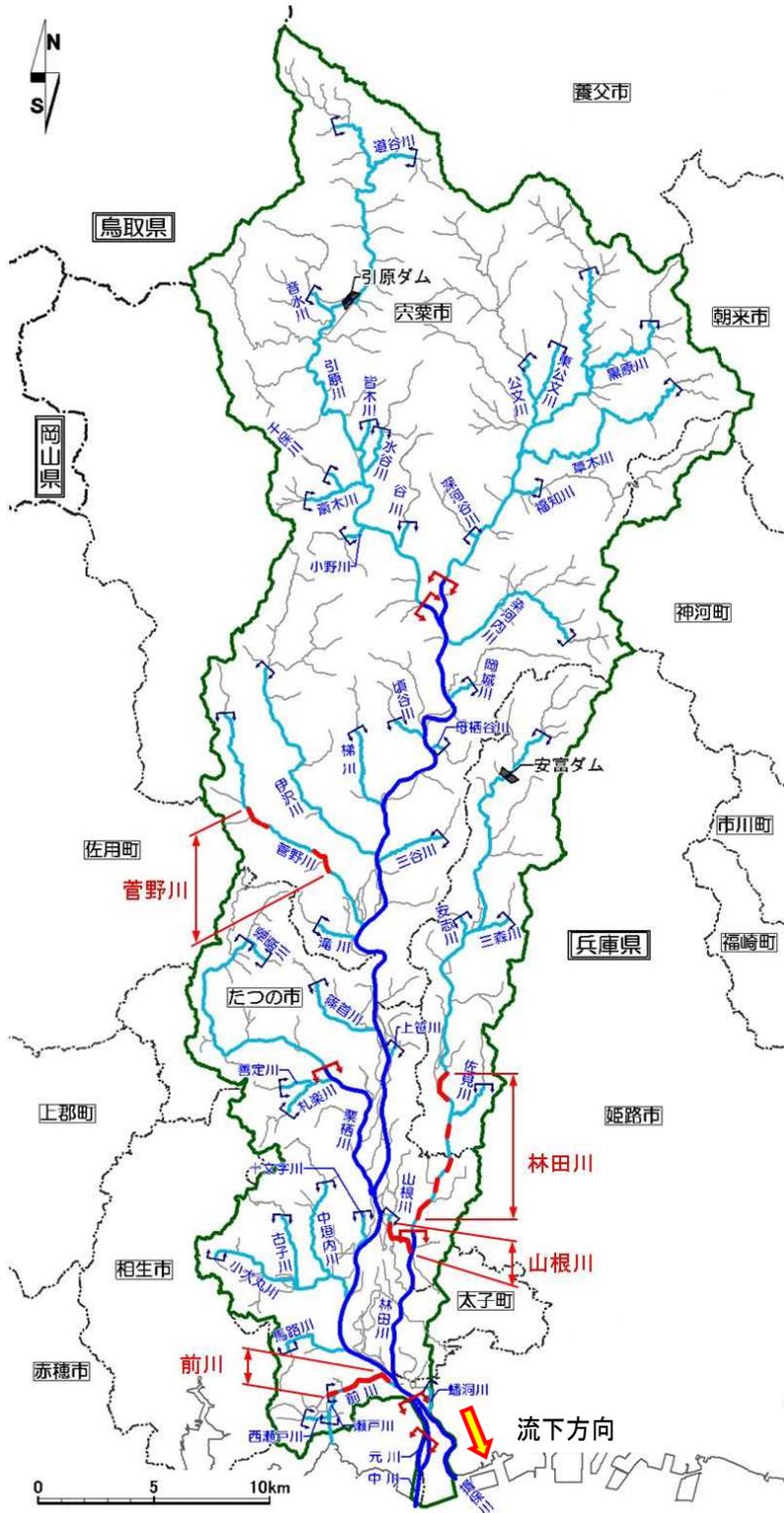
事業を実施中または今後実施予定の33水系について策定済

策定状況	水系数	水系名
策定済	33水系	武庫川、新川、東川、洗戎川、夙川、堀切川、高橋川、新湊川、妙法寺川、福田川、明石川、瀬戸川、喜瀬川、法華山谷川、八家川、市川、野田川、船場川、夢前川、富島川、大谷川、千種川、加里屋川、大津川、香住谷川、矢田川、岸田川、育波川、都志川、三原川、塩屋川、本庄川、洲本川、志筑川

※加里屋川は千種川水系に属する。



(一)揖保川水系揖保川圏域河川整備計画 全体位置図



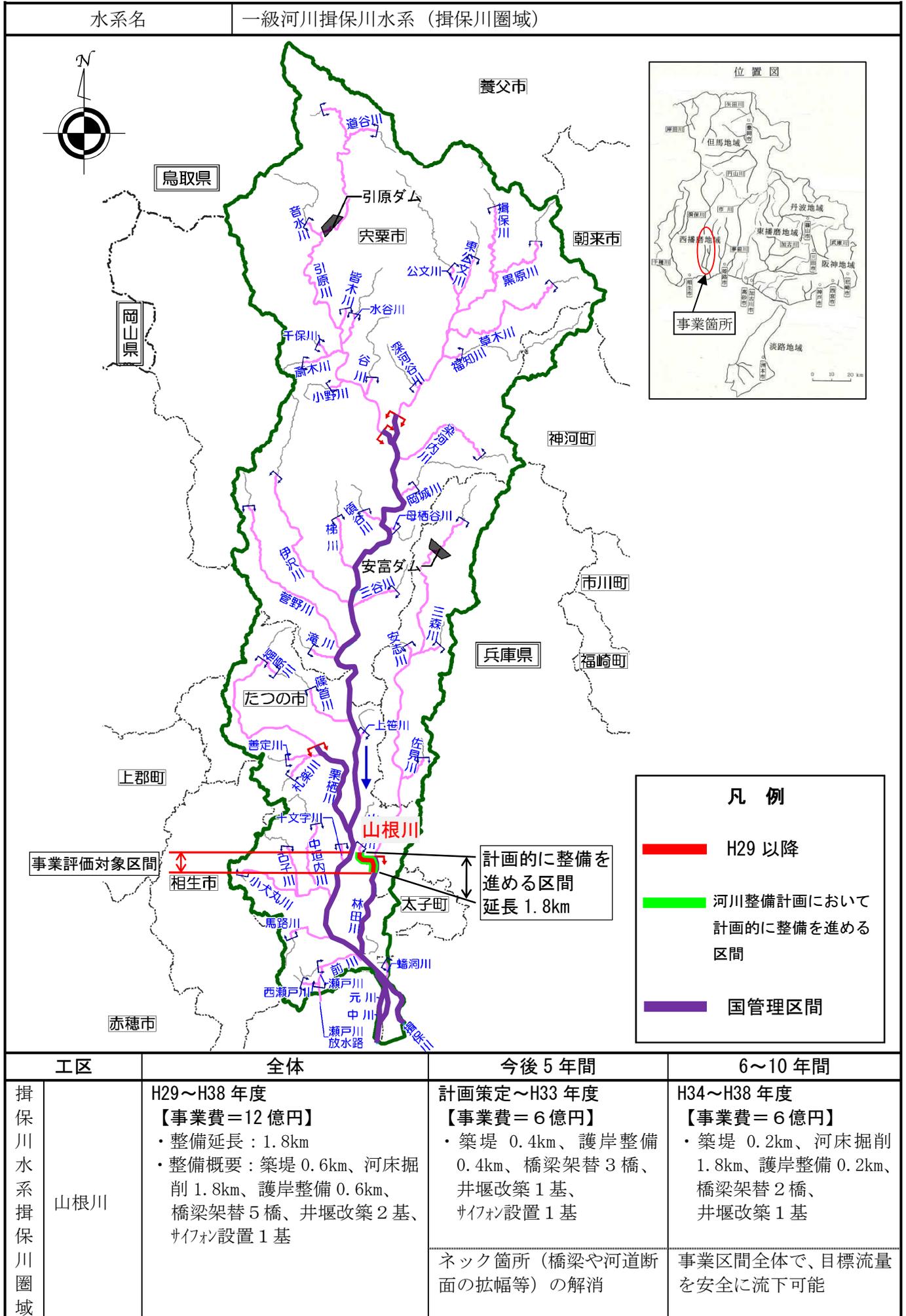
	河川名	整備区間	備考
1	前川	前川樋門上流～大橋	未着手
2	前川	大橋上流	未着手
3	前川	瀬戸川合流点下流～瀬戸川合流点上流	未着手
4	林田川	入野沢田橋～入野橋	未着手
5	林田川	神岡橋上流	未着手
6	林田川	鳥井橋上流	未着手
7	林田川	新町橋上流	未着手
8	林田川	八幡橋上流～不動橋下流	未着手
9	山根川	林田川合流点～市道橋上流	事業中
10	菅野川	古木谷橋下流～市場橋	未着手
11	菅野川	三田橋～門口橋上流	未着手

## 河川整備計画策定報告

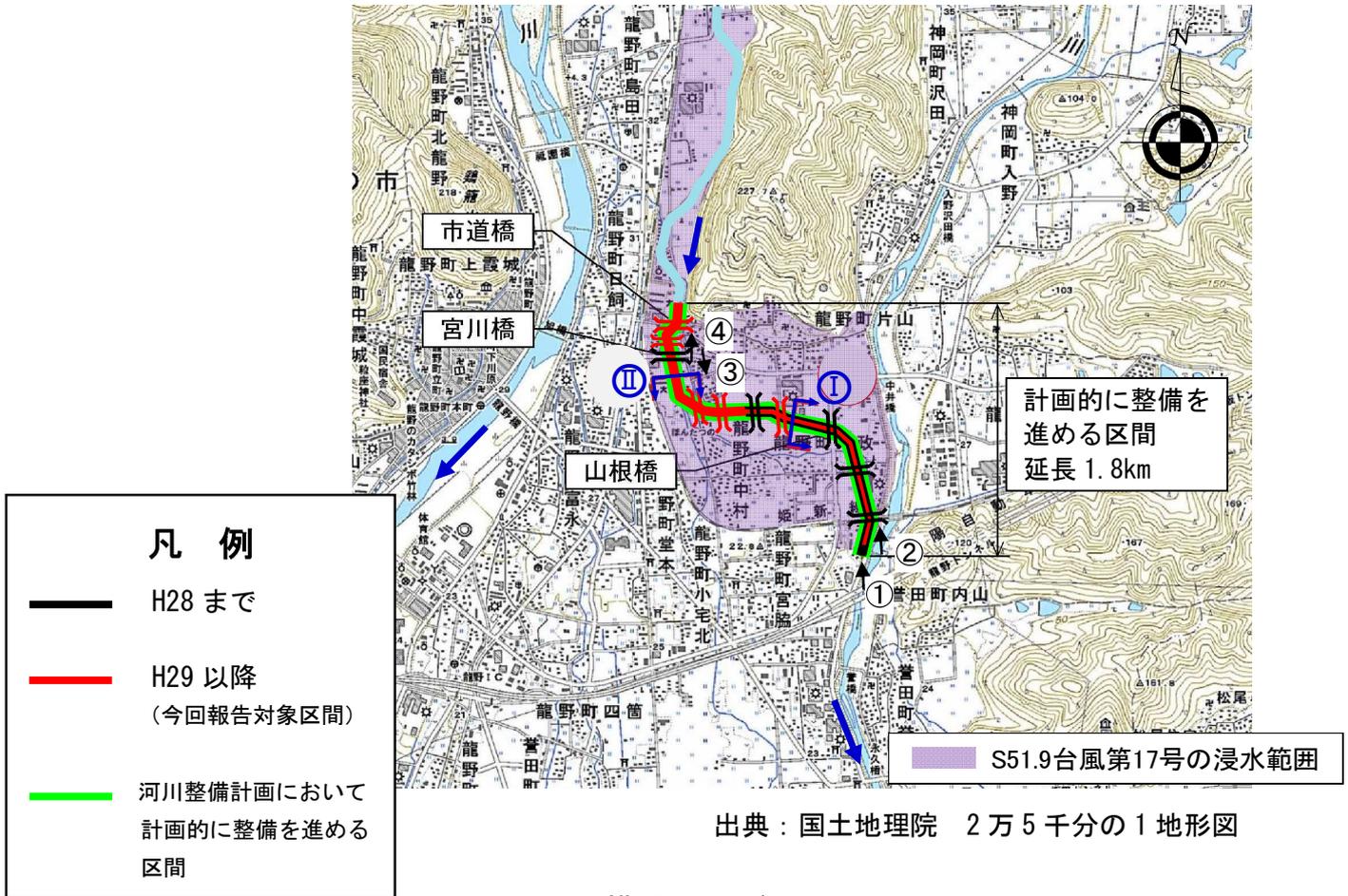
部課室名	県土整備部土木局 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 鶴崎 尚夫 (企画整備班主幹 藤田 幸治)	内線	4408 (4437)	
事業種目	河川事業	水系名	揖保川水系			
事業目的						
揖保川水系揖保川圏域において、平成 29 年 3 月に策定した河川整備計画に基づき、計画的に河川改修事業を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。						
揖保川水系揖保川圏域における「計画的に整備を進める区間」※1					評価年度	
支川					H28 (河川整備計画策定年度)	
山根川	戦後最大の被害が発生した昭和 51 年 9 月の洪水と同規模の洪水を安全に流下させる					
事業概要および進捗状況				今回報告内容		
工区	事業区間	整備内容	河川整備計画策定以降の事業費	残事業費	進捗率	完成予定年度
			内用地補償費	内用地補償費	内用補進捗率	
揖保川水系揖保川圏域	たつの市龍野町 <small>すえまさ</small> 末政～たつの市 <small>ひがい</small> 龍野町日飼	築堤、河床掘削、橋梁 5 橋、井堰改築 2 基等	12 億円	12 億円	0%	H38
	3.5 億円		3.5 億円	0%		
	水系 計			12 億円	12 億円	0%
事業を取り巻く社会経済情勢等の変化		平成 29 年 9 月台風第 18 号により、たつの市付近に記録的短時間大雨情報が発表されるなど、全国で局地的な豪雨が頻発していることから、地元の河川改修に対する要望はさらに強まっている。				
評価視点		評価結果の説明				
(1) 必要性		① 揖保川水系は、昭和 51 年 9 月の台風第 17 号(浸水家屋 3,034 戸)などにより甚大な浸水被害が発生している。 ② 当該事業においては、護岸、橋梁架替、井堰改築等が必要となっている区間が残っており、引き続き河川改修を進める必要がある。				
(2) 有効性・効率性 (事業執行環境)		① 費用便益費 B/C=13.0 (河川整備計画に位置づけられた全ての事業による費用便益費) ② 事業促進に対する地元の協力体制が概ね確保されるとともに関係機関との協議・調整が進んでおり、事業執行環境は整っている。				
(3) 環境適合性		動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮し、河口部から上流部までの縦断的連続性、周辺の水田などとの横断的連続性の確保、みお筋や瀬・淵が連続する川らしい河川環境の再生と保全に努める。				
(4) 優先性		河川周辺に人家連担部や小中学校があり、流下能力不足による大きな浸水被害が想定される。				
(5) 対応方針		策定された河川整備計画に基づき、事業の早期完了に向け、事業推進を図る。				

※1 事業評価対象区間のみを記載

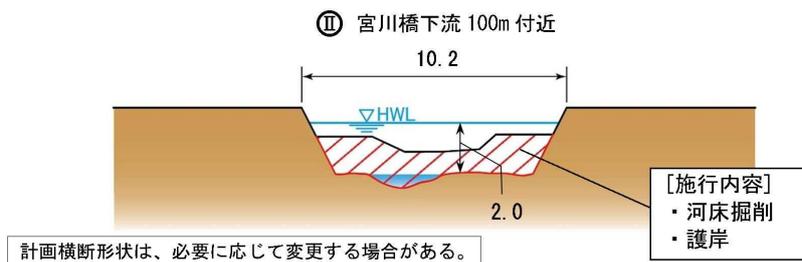
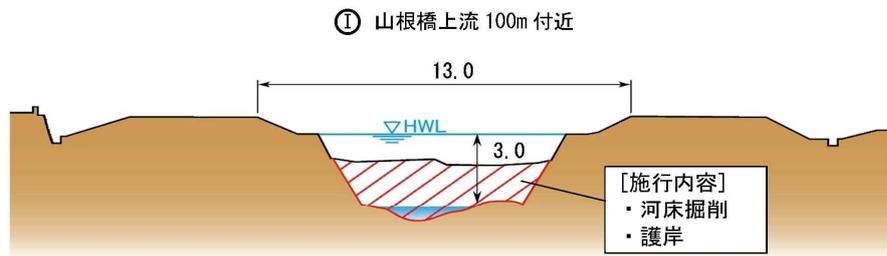
事業進捗状況概要図（河川整備計画策定報告）



# 山根川 整備概要図



## 横断イメージ



# 山根川 整備状況

<p><b>【完成区間】</b></p> <p>① 山根川排水樋門より上流の状況</p> 	<p><b>【残事業区間】</b></p> <p>② 赤井頭首工より上流の状況</p> 
<p><b>【残事業区間】</b></p> <p>③ 宮川橋より下流の状況</p> 	<p><b>【残事業区間】</b></p> <p>④ 宮川橋より上流の状況</p> 

## スケジュール

種別		H29-33	H34-38
山根川	用地	■	
	築堤	■	■
	護岸	■	■
	河床掘削		■
	橋梁5橋	■ 3橋	■ 2橋
	井堰改築2基	■	■
	サイフォン設置1基	■	

## 事業変遷等

昭和 51 年：台風第 17 号(浸水家屋 3,034 戸)<sup>\*</sup>  
 昭和 55 年：山根川改修工事着手  
 (1.8km：林田川合流点～日飼)

平成 2 年：台風第 19 号(浸水家屋 656 戸)<sup>\*</sup>  
 平成 10 年：事業評価(再評価)  
 平成 15 年：事業評価(再評価)  
 平成 19 年：河川整備基本方針策定  
 平成 21 年：台風第 9 号(浸水家屋 528 戸)<sup>\*</sup>  
 事業評価(再評価)  
 平成 25 年：整備計画策定中間報告(再評価)  
 平成 29 年：河川整備計画策定

<sup>\*</sup> 揖保川水系揖保川圏域河川整備計画による

## 河川整備計画策定報告

部課室名	県土整備部土木局 総合治水課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	総合治水課長 達可 明朝 (計 画 班 長 伊藤 晃彦)	内線	4426 (4431)
------	-------------------	---------------------	---------------------------------	----	----------------

計画の名称	(一)由良川水系竹田川圏域 河川整備計画
計画策定経緯	河川整備基本方針 H11 年 12 月策定 [国] 河川整備計画策定 H14 年 10 月(当初) / H24 年 6 月(第1回変更)  河川整備計画検討委員会 平成 28 年 1 月 ※委員：藤田一郎神戸大学教授(学識)、地元関係団体 5 名 河川整備計画策定 H28 年 5 月(第2回変更)

### 河川整備計画の目標

竹田川、鴨庄川、前山川、徳尾川、市の貝川、美和川、滝の尻川	戦後最大規模の広域的な被害をもたらした昭和 58 年 9 月台風 10 号程度の洪水を安全に流下させる
黒井川	昭和 58 年 9 月台風 10 号程度の洪水に対し、家屋への浸水を軽減させる

### 河川整備計画の主な変更箇所

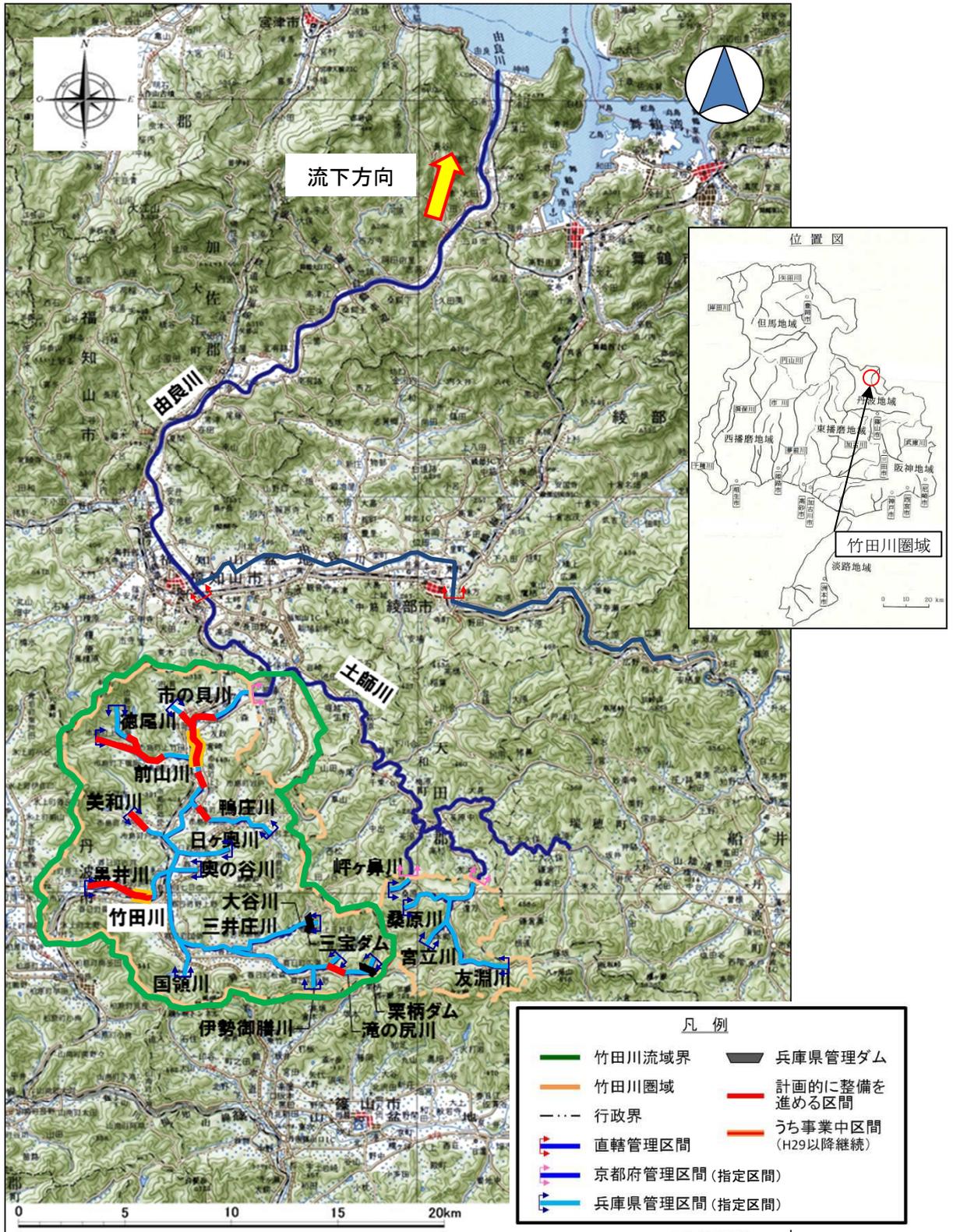
H26.8 豪雨災害を踏まえた以下の工事箇所の追加 等  
・市の貝川、前山川、徳尾川、美和川

### 河川整備計画検討委員会での主な意見及び県の回答

(治水) H26 年洪水に比べ、整備目標流量が小さい。再度同程度の雨による被害は防げるのか(市の貝川)	(回答) H26 年洪水時に最も脆弱であった JR 橋、高橋及びその間の区間を整備することから被害は大幅に低減されると考える
(環境) 工事後は河床が平らになり、自然の淵・瀬等がなくなり魚が住めなくなる。魚の生息環境にも配慮した工事をお願いしたい	(回答) 現況の自然な河床状況を保ち、瀬・淵の形成を促す整備を行う。また上下流の行き来を阻害する落差工については、緩傾斜落差工を整備し、魚の通り道を確保する
(河川利用・その他) 取水施設の土砂撤去や草刈り、外来種の駆除等維持管理を適切に行うために必要なはしご・階段を整備してほしい	(回答) 地域の要望・活動に応じて、タラップ・はしご等の昇降施設を設置する

(参考)総合治水の取組	H25年度に策定した「丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進計画」に基づき、従来からの河川対策を計画的に進めるとともに、公共施設への雨水貯留浸透施設の設置等の流域対策、防災リーダー講座の開催や水防訓練の実施等の減災対策を併せて推進していく。
-------------	---

(一) 由良川水系竹田川圏域河川整備計画 全体位置図



	河川名	整備区間	備考
1	竹田川	高町井堰～上島井堰	事業中
2	竹田川	久良部橋～上垣橋	未着手
3	竹田川	出合橋付近	未着手
4	市の貝川	竹田川合流点～天王の下橋	事業中(災害)
5	前山川	牛谷川合流～池尾橋	完了(災害)
6	徳尾川	前山川合流～三角田橋	完了(災害)
7	鴨庄川	高橋～下島橋	未着手
8	三和川	戸坂川合流～長尾川合流	完了(災害)
9	黒井川	高龍寺橋～船城橋	事業中
10	滝の尻川	滝の尻橋付近	未着手

## 河川整備計画策定報告

部課室名	県土整備部土木局 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 鶴崎尚夫 (企画整備班主幹 藤田 幸治)	内線	4408 (4437)
------	-------------------	---------------------	--------------------------------	----	----------------

事業種目	河川事業	水系名	由良川水系
------	------	-----	-------

**事業目的**

由良川水系竹田川圏域において、平成 28 年 5 月に策定された河川整備計画に基づき、計画的に河川改修事業を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。

由良川水系竹田川圏域における「計画的に整備を進める区間」※ <sup>1</sup>	評価年度
支川	H28 (河川整備計画策定年度)
竹田川	
黒井川	

事業概要および進捗状況			今回報告内容			
工区	事業区間	整備内容	河川整備計画策定 以降の事業費	残事業費	進捗率	完成予定 年度
			内用地補償費	内用地補償費	内用補進捗率	
由良川水系竹田川圏域	竹田川 <small>とて 土手井堰～ かみじま 上島井堰</small>	河床掘削、 井堰 2 基 (現況 5 基)	24.2 億円	24.2 億円	0%	H38
			1.4 億円	1.4 億円	0%	
黒井川	東山橋上流～ <small>ひがしやま 藤林橋上流</small>	護岸、 橋梁 1 橋 井堰 1 基	5.4 億円	5.4 億円	0%	H38
			1.2 億円	1.2 億円	0%	
水系 計			29.6 億	29.6 億	0%	H38

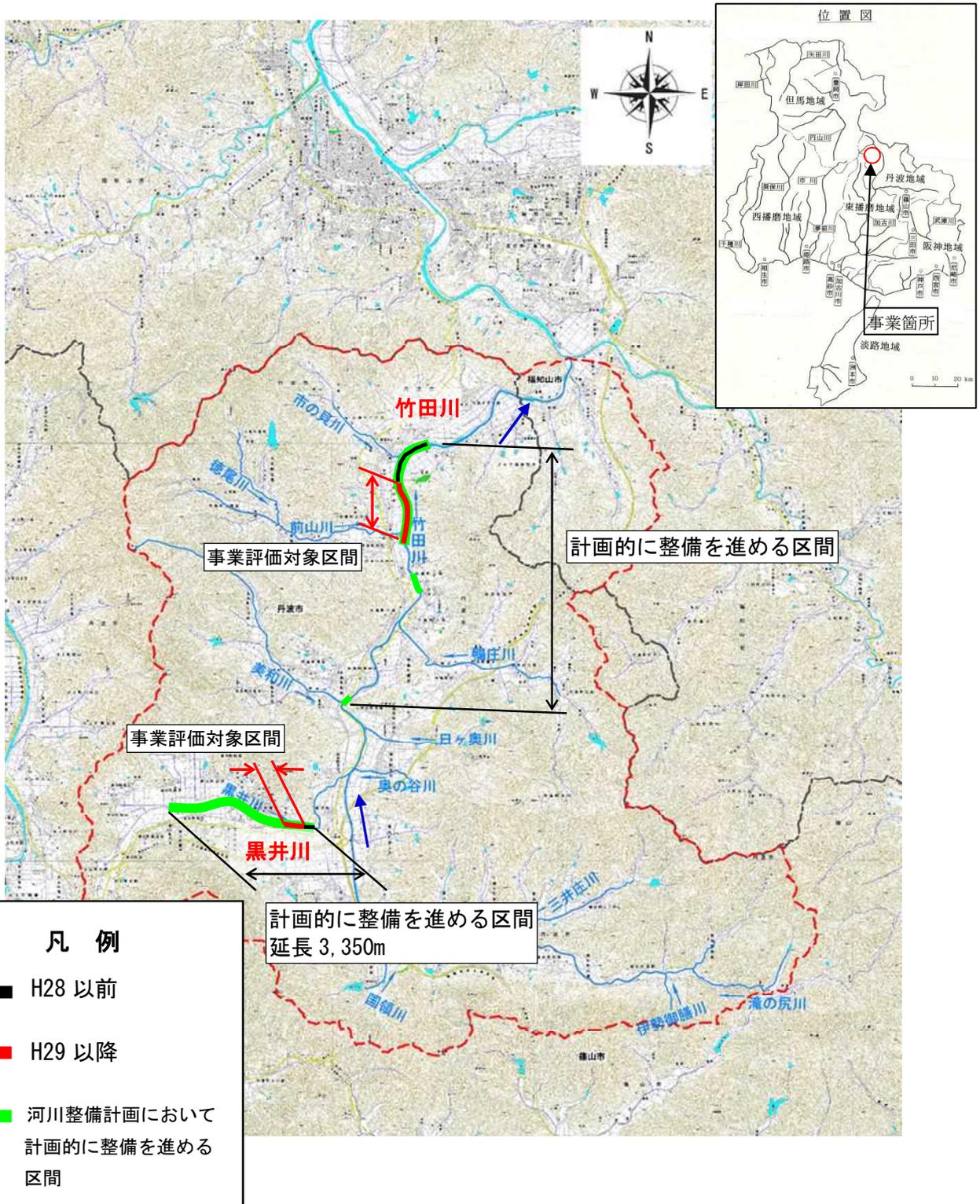
**事業を取り巻く社会経済情勢等の変化** 平成 26 年 8 月丹波豪雨により床上浸水被害が発生するなど、近年の全国的な局地的豪雨が頻発していることから、地元の河川改修に対する要望はさらに強まっている。

評価視点	評価結果の説明
(1) 必要性	①竹田川圏域は、昭和 58 年 9 月台風第 10 号(浸水家屋 947 戸)をはじめ、近年においても平成 26 年 8 月豪雨(浸水家屋 953 戸)等で多くの浸水被害が発生している。 ②当該事業においては、護岸、橋梁架替、井堰改築等が必要となっている区間が残っており、引き続き河川改修を進める必要がある。
(2) 有効性・効率性 (事業執行環境)	①費用便益比：B/C=2.1 (河川整備計画に位置付けられた全ての事業による費用便益費) ②井堰改築の際には、統廃合を行うことでコストの縮減を図ることができる。また、統廃合に関しては地元と合意しており、事業執行環境は整っている。
(3) 環境適合性	①従前からあった瀬や淵等を可能な限り保全・復元するなど多様な動植物の生息・生育・繁殖環境への影響を最小限にとどめる。 ②井堰改築時に魚道を設置し、魚類の遡上に配慮する。
(4) 優先性	固定堰未改築箇所の流下能力は低く、また井堰の統廃合では地元の合意も得られる等の執行環境も整っており、早期に事業効果を発現させるためにも、優先的に改修を進める。
(5) 対応方針	策定された河川整備計画に基づき、事業の早期完了に向け、事業推進を図る。

※ 1 事業評価対象区間のみを記載

水系名

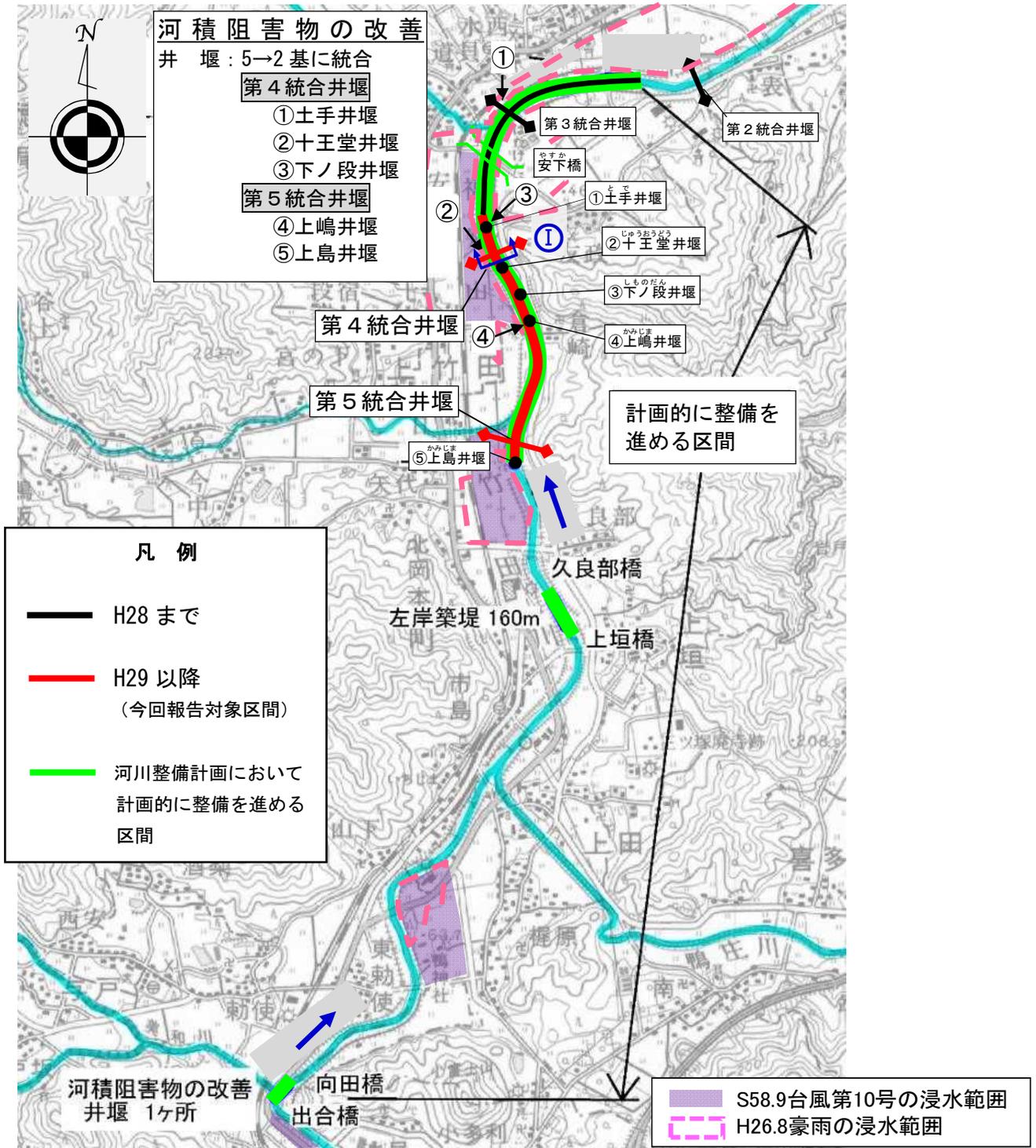
一級河川由良川水系（竹田川圏域）



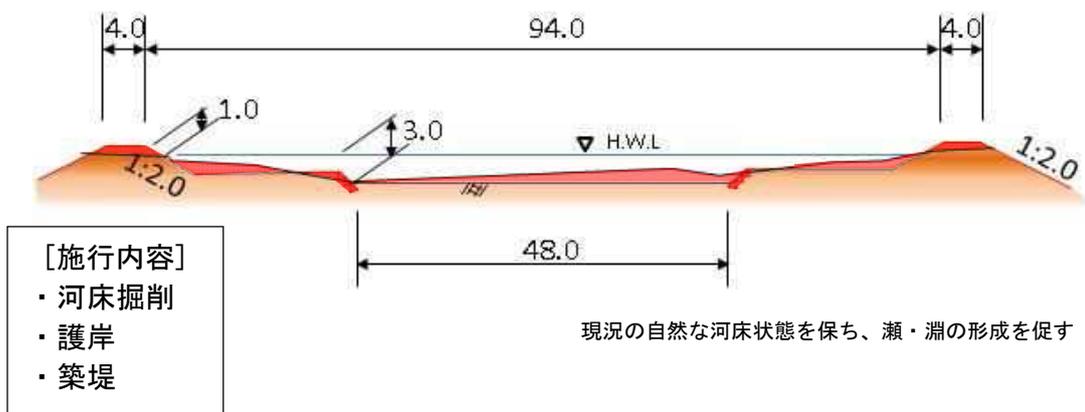
凡例	
	H28 以前
	H29 以降
	河川整備計画において 計画的に整備を進める 区間

工区		全体	今後5年間	6～10年間
竹田川圏域	竹田川	H29～H38 年度 【事業費=24.2 億円】 ・河床掘削、 井堰改築 2 基	計画策定～H33 年度 【事業費=11.9 億円】 ・河床掘削、井堰改築 (第4 統合井堰) ネック箇所 (井堰) の解消	H34～H38 年度 【事業費=12.3 億円】 ・河床掘削、井堰改築 (第5 統合井堰) ネック箇所 (井堰) の解消
	黒井川	H29～H38 年度 【事業費=5.4 億円】 ・護岸、井堰改築 1 基 橋梁架替 1 橋	計画策定～H33 年度 【事業費=3.4 億円】 ・井堰改築 (藤林井堰)、 護岸、橋梁架替 (藤林橋) ネック箇所 (井堰) の解消	H34～H38 年度 【事業費=2.0 億円】 ・護岸、橋梁架替 (藤林橋) ネック箇所 (橋梁) の解消

# 整備概要図(竹田川)

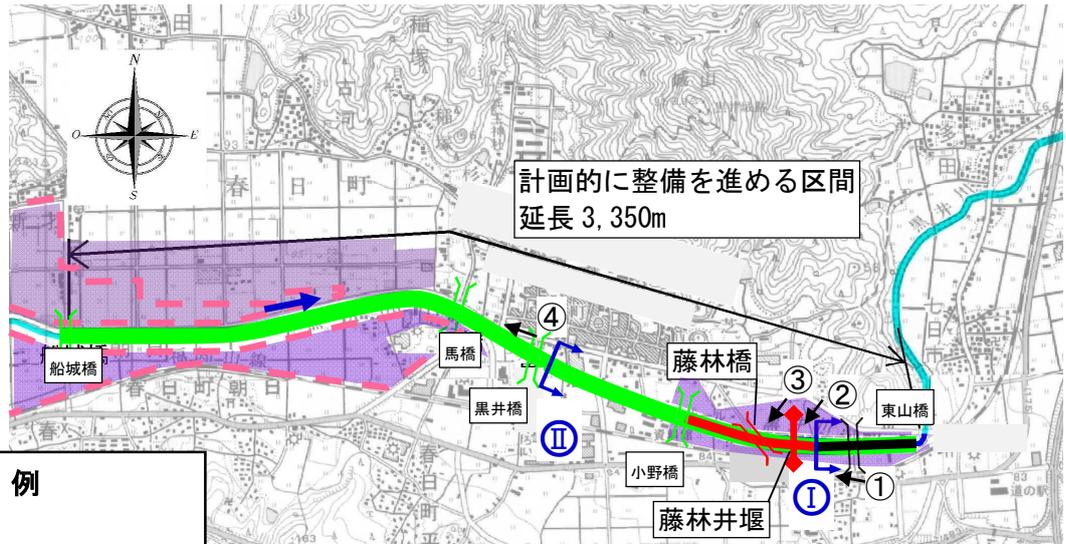


横断面図 ①(第4統合井堰付近)





# 整備概要図(黒井川)



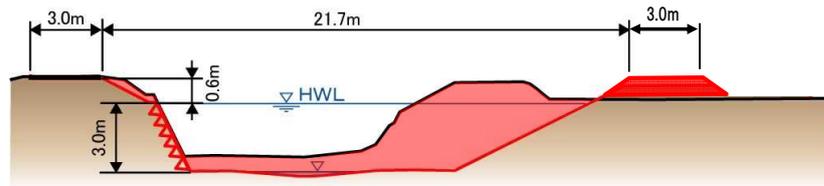
**凡例**

- H28 まで
- H29 以降  
(今回報告対象区間)
- 河川整備計画において  
計画的に整備を進める  
区間

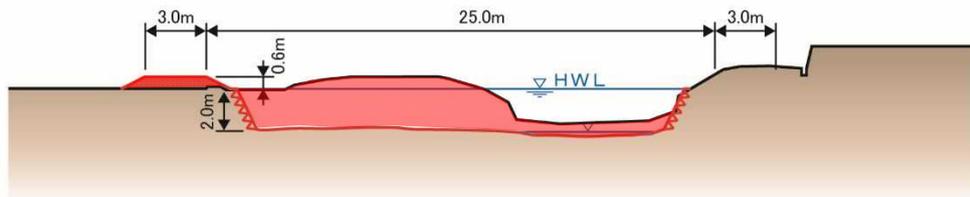
- S58.9台風第10号の浸水範囲
- H26.8豪雨の浸水範囲

横断面図(黒井川)

① (東山橋付近)



② (黒井橋付近)



**[施行内容]**

- ・河床掘削
- ・護岸
- ・築堤

現況の自然な河床状態を保ち、瀬・淵の形成を促す

## 整備状況(黒井川)

<p><b>【完成区間】</b></p> <p>① 東山橋上流</p> 	<p><b>【残事業区間】</b></p> <p>② 藤林井堰</p> 
<p><b>【残事業区間】</b></p> <p>③ 藤林橋</p> 	<p><b>【残事業区間】</b></p> <p>④ 河床掘削、護岸工</p> 

## スケジュール

種別		H29-33	H34-38
黒井川	藤林井堰	用地	■
		上下部工	■
	藤林橋	用地	■
		下部工	■
		上部工	■
	護岸 河床掘削	用地	■
		L=200m	■

## 事業変遷等

平成 2 年：台風第 19 号（浸水家屋 90 戸）※  
 平成 4 年：黒井川改修工事着手  
 （3.35km：春日町野村～朝日）

平成 11 年：河川整備基本方針策定  
 平成 13 年：事業評価（再評価）  
 平成 14 年：河川整備計画策定  
 平成 19 年：事業評価（再評価）  
 平成 24 年：河川整備計画策定（第 1 回変更）  
 策定完了報告（再評価）

平成 26 年：丹波豪雨災害（浸水家屋 953 戸）※  
 災害関連事業（5.5km：前山川、徳尾川、  
 市の貝川、美和川）

平成 28 年：河川整備計画策定（第 2 回変更）

※1 由良川水系竹田川圏域河川整備計画による  
 ※2 平成 26 年 8 月豪雨災害の復旧・復興計画による